
まちづくり市民意向調査結果報告書

(平成20年8月アンケート調査実施)

平成21年3月

宮城県登米市

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査方法	1
(4) 回収状況	1
2. 調査結果	2
【 問 1 生活環境の満足度・重要度 】	2～3
(1) 満足度・重要度の順位	4
○満足度の高かった上位5項目	4
○重要度の高かった上位5項目	4
○評価の上がり幅が大きかった上位5項目	4
○評価の下がり幅が大きかった上位5項目	4
(2) 満足度の分析	5～11
【 問 2 登米市の暮らしやすさ 】	12
【 問 3 定住意向 】	13
【 問 4 定住したい理由 】	14
【 問 5 転居したい理由 】	15
【 問 6 登米市の将来イメージ 】	16
【 問 7 地域発展に向けた重点施策 】	17
【 問 8 都市整備や市街地開発の方向 】	18
【 問 9 農地のあり方 】	19
【 問 10 山林のあり方 】	20
【 問 11 住宅地のあり方 】	21
【 問 12 商業地のあり方 】	22
【 問 13 工業地のあり方 】	23
【 問 14 性別 】	24
【 問 15 年代 】	25
【 問 16 居住地 】	26
【 問 17 職業 】	27
【 問 18 通勤・通学先 】	28
【 問 19 居住経験 】	29

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、合併後3年を経過したことから、市のまちづくりに関して市民の日頃の考えをお聞きし、まちづくりの成果を把握・評価することにより、市民満足度の検証を行い、今後のまちづくりの施策に反映させることを目的としたものです。

(2) 調査内容

登米市総合計画を策定する際に実施した市民アンケートを基に設問し、前回調査との比較検討を行ったものです。

<ul style="list-style-type: none"> ● 生活環境等について <ul style="list-style-type: none"> 生活環境の満足度・重要度 問 1 登米市の暮らしやすさ 問 2 ● 今後の居住意向について <ul style="list-style-type: none"> 定住意向 問 3 定住したい理由 問 4 転居したい理由 問 5 ● これからのまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> 登米市の将来イメージ 問 6 地域発展に向けた重点施策 問 7 都市整備や市街地開発の方向 問 8 農地のあり方 問 9 山林のあり方 問 10 住宅地のあり方 問 11 商業地のあり方 問 12 工業地のあり方 問 13 	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の属性 <ul style="list-style-type: none"> 性別 問 14 年代 問 15 居住地 問 16 職業 問 17 通勤・通学先 問 18 居住経験 問 19
--	---

(3) 調査方法

調査方法	アンケート調査（各行政区長による配布・回収）
調査対象	18歳以上の登米市民5,000人 （住民基本台帳より約5.7%を無作為に抽出）
調査期間	平成20年8月21日～8月31日

(4) 回収状況

	今回調査			前回調査			比較
	配布数	回収数	(回収率)	配布数	回収数	(回収率)	(回収率)
全 体	5,000	4,009	(80.2%)	5,074	3,826	(75.4%)	4.8%
男 性	2,478	1,758	(70.9%)	2,438	1,688	(69.2%)	1.7%
女 性	2,522	2,053	(81.4%)	2,636	1,988	(75.4%)	6.0%
無回答	—	198	—	—	150	—	—

2. 調査結果

【問1 生活環境の満足度・重要度】

各分野にわたり、48項目を設定し、満足度・重要度について調査を行いました。

このうち、33項目において前回調査と同じ設問とし、比較・検討を行っております。

全体的には、前回と比較し満足度では0.02ポイント減少いたしましたが、**前回調査とほぼ同じ水準となりました。**

満足度で、最も高かったのは「交通安全の推進 2.70」で、次に「消防・救急救助体制の充実 2.68」、「下水道の推進 2.67」が続いています。満足度が最も低かったのは「医療機関の充実 1.77」、「社会保障の充実 1.79」、「救急医療体制の充実 1.87」と続き、地域医療に対する市民の不安が大きく反映していることが伺えます。

重要度で、最も高かったのは「救急医療体制の充実 3.81」で、次に「医療機関の充実 3.80」、「社会保障の充実 3.71」と続いております。

評価の方法は、次の式により項目ごとに回答を点数化（加重平均）し、分析します。
 点数が2.50より高ければ高いほど満足（重要）、一方、2.50より低ければ低いほど不満（重要でない）という意見が多いと分析・整理されます。

$$\text{点数} = \frac{\text{「満足（重要）」（票数）} \times 4 \text{点} + \text{「ある程度満足（やや重要）」（票数）} \times 3 \text{点} + \text{「あまり満足（重要）でない」（票数）} \times 2 \text{点} + \text{「満足（重要）でない」（票数）} \times 1 \text{点}}{\text{「満足（重要）」} \sim \text{満足（重要）でない」回答総数(票数)}$$

今回調査				前回調査				比較	
まちづくりの基本方向	項目	満足度	重要度	項目	満足度	重要度	満足度	重要度	
人と自然が共生するうえのありのまちづくり	1 自然環境の保全	2.50	3.23	—	—	—	—	—	
	2 自然環境の活用(又は創造)	2.30	3.08	—	—	—	—	—	
	—	—	—	5 自然環境の豊かさ	2.83	3.23	—	—	
	3 上水道の推進	2.54	3.65	1 上下水道の整備	2.52	3.29	0.02	0.36	
	4 下水道の推進	2.67	3.44	1 上下水道の整備	2.52	3.29	0.15	0.15	
	5 公園・緑地	2.43	2.99	2 公園や広場の整備	2.35	3.13	0.08	▲0.14	
	6 ゴミ減量化・資源リサイクルの推進	2.65	3.50	4 リサイクルの取り組み	2.68	3.31	▲0.03	0.19	
	7 地球温暖化対策への取り組み	2.17	3.50	—	—	—	—	—	
8 ゴミ処理の適正化・公害の未然防止	2.39	3.52	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	3 ゴミ対策	2.62	3.37	—	—		
—	—	—	6 騒音、水質などの公害対策	2.51	3.30	—	—		
大活地の恵みと人の技をかし	9 農業の振興	2.08	3.41	産業、就業環境	7 農業の振興	2.39	3.27	▲0.31	0.14
	10 林業の振興	2.25	3.02		8 林業の振興	2.42	2.81	▲0.17	0.21
	11 商業の振興	2.00	3.17		9 商業の振興	2.30	3.14	▲0.30	0.03
	12 工業の振興	1.95	3.33		10 工業の振興	2.16	3.18	▲0.21	0.15
	13 観光の振興	2.15	2.88		11 観光の振興	2.27	2.94	▲0.12	▲0.06
	—	—	—		12 日常の買い物の便利さ	2.54	3.19	—	—
	14 雇用対策・起業支援	1.86	3.43		13 雇用の機会	1.87	3.54	▲0.01	▲0.11

今回調査				前回調査			比較			
まちづくりの 基本方向	項目	満足度	重要度	項目	満足度	重要度	満足度	重要度		
安全に安心して暮らせるやすらぎのあるまちづくり	15 保健・検診サービスの充実	2.56	3.52	19 保健・検診サービスの充実	2.75	3.42	▲0.19	0.10		
	16 医療機関の充実	1.77	3.80	18 病院や診療所などの医療機関の充実	2.31	3.70	▲0.54	0.10		
	17 救急医療体制の充実	1.87	3.81	14 救急医療体制の整備	2.21	3.76	▲0.34	0.05		
	18 社会保障の充実	1.79	3.71	—	—	—	—	—		
	19 地域福祉の推進	2.29	3.35	—	—	—	—	—		
	20 児童福祉、子育て支援の充実	2.35	3.47	20 児童福祉の充実	2.40	3.40	▲0.05	0.07		
	21 高齢者福祉の充実	2.30	3.48	21 高齢者福祉の充実	2.55	3.39	▲0.25	0.09		
	22 障害者福祉の充実	2.35	3.34	22 障害者福祉の充実	2.51	3.34	▲0.16	0.00		
	23 消防・救急救助体制の充実	2.68	3.57	15 消防体制の整備	2.77	3.61	▲0.09	▲0.04		
	24 風水害、地震などの自然災害対策	2.45	3.51	17 風水害、地震などの自然災害対策	2.19	3.63	0.26	▲0.12		
	25 防災対策の推進	2.37	3.41	16 交通安全や防犯体制の対策	2.44	3.50	▲0.07	▲0.09		
	26 交通安全の推進	2.70	3.30	16 交通安全や防犯体制の対策	2.44	3.50	0.26	▲0.20		
	27 消費生活の安定と向上	2.31	3.09	—	—	—	—	—		
	の 便利 ある まち づく り	28 計画的な市街地の整備	2.18	2.99	—	—	—	—	—	
29 居住環境の整備		2.29	3.18	—	—	—	—	—		
—		—	—	23 公営住宅の整備	2.55	2.67	—	—		
30 良好な町並み、景観の形成		2.43	2.84	—	—	—	—	—		
31 道路の整備		2.50	3.10	24 道路の整備	2.50	3.26	0.00	▲0.16		
32 バスなどの公共交通機関の充実		2.26	3.12	25 バスなどの公共交通機関の充実	2.13	3.01	0.13	0.11		
33 地域情報化(IT化)の推進		2.38	2.84	26 地域情報化の推進	2.25	3.02	0.13	▲0.18		
り 豊 かな 心と 個性 を育 むふ れあ いの まち づく り	34 幼児教育の充実	2.49	3.37	—	—	—	—	—		
	35 小・中学校教育の充実	2.47	3.52	28 学校教育の充実	2.56	3.51	▲0.09	0.01		
	36 小・中学校施設の整備	2.55	3.40	28 教育施設の整備	2.55	3.33	0.00	0.07		
	37 生涯学習の充実	2.50	3.07	30 生涯学習の充実	2.60	3.00	▲0.10	0.07		
	38 スポーツ・レクリエーションの振興	2.63	2.79	31 スポーツの振興	2.70	2.86	▲0.07	▲0.07		
	39 青少年の健全育成	2.47	3.20	—	—	—	—	—		
	40 地域間交流や国際交流の推進	2.53	2.70	32 地域間交流や国際交流の推進	2.42	2.76	0.11	▲0.06		
	41 文化・芸術活動の推進	2.54	2.69	—	—	—	—	—		
	42 文化財等の保護・継承	2.63	2.88	—	—	—	—	—		
	—	—	—	29 文化財の保護・地域文化の振興	2.72	2.91	—	—		
協 働の まち づく り	43 市政への市民参加	2.34	3.03	33 市政への市民参加	2.22	3.16	0.12	▲0.13		
	44 市政に関する情報提供	2.51	3.14	37 市政に関する情報提供	2.23	3.27	0.28	▲0.13		
	45 男女共同参画社会の推進	2.49	2.79	35 男女共同参画社会の推進	2.40	2.81	0.09	▲0.02		
	46 地域の自治・コミュニティ活動の推進	2.56	2.91	34 地域の自治・コミュニティ活動の推進	2.55	2.89	0.01	0.02		
	47 調和と均衡ある地域の発展	2.44	2.90	—	—	—	—	—		
	48 行財政改革の推進	2.19	3.34	36 行財政改革の推進	2.11	3.32	0.08	0.02		
	分 野 別 平 均	人と自然が共生するうおいのあるまちづくり	2.57	3.40	分野別平均	自然環境、生活環境、循環型社会	2.52	3.26	0.05	0.14
		大地の恵みと人の技を生かした活力のあるまちづくり	2.05	3.21	産業、就業環境	2.24	3.15	▲0.19	0.06	
安全に安心して暮らせるやすらぎのあるまちづくり		2.34	3.52	保健・医療・福祉、防災・防犯	2.46	3.53	▲0.12	▲0.01		
便利で快適に暮らせるゆとりのあるまちづくり		2.38	3.02	都市基盤	2.29	3.10	0.09	▲0.08		
豊かな心と個性を育むふれあいのまちづくり		2.54	3.10	教育、文化、生涯学習等	2.57	3.09	▲0.03	0.01		
市民の創造力を生かした協働のまちづくり		2.42	3.04	市民参加、行財政運営	2.30	3.09	0.12	▲0.05		
全平均	2.38	3.21	全平均	2.40	3.20	▲0.02	0.01			

※1: 今回の調査項目1、2、7、8、18、19、27、28、29、30、34、39、41、42、47については、前回の調査項目に比較できる項目がないため数値の比較をしていない。

※2: 今回の調査項目3と4、25と26については、前回の調査項目が1つのため、同じ数値を使用して比較している。

※3: 前回の調査項目3、5、6、12、23、29については、今回の調査項目に比較できる項目がないため数値の比較をしていない。

※4: 分野別平均及び全平均の数値は、今回と前回の調査項目が比較できる項目の数値のみを用いて算出している。

(1) 満足度・重要度の順位

○満足度の高かった上位5項目

()内は点数

	1位	2位	3位	4位	5位
今回	26.交通安全の推進 (2.70)	23.消防・救急救助体制の充実(2.68)	4.下水道の推進 (2.67)	6.ゴミ減量化・資源リサイクルの推進 (2.65)	42.文化財等の保護・継承(2.63)
前回	5.自然環境の豊かさ (2.83)	15.消防体制の整備 (2.77)	19.保健・検診サービスの充実(2.75)	29.文化財の保護・地域文化の振興 (2.72)	31.スポーツの振興 (2.70)

○重要度の高かった上位5項目

()内は点数

	1位	2位	3位	4位	5位
今回	17.救急医療体制の充実(3.81)	16.医療機関の充実 (3.80)	18.社会保障の充実 (3.71)	3.上水道の推進 (3.65)	23.消防・救急救助体制の充実(3.57)
前回	14.救急医療体制の整備(3.76)	18.病院や診療所などの医療機関の充実 (3.70)	17.風水害、地震などの自然災害対策 (3.63)	15.消防体制の整備 (3.61)	13.雇用の機会 (3.54)

○評価の上がり幅が大きかった上位5項目

()内はポイント

	1位	2位	3位	4位	5位
満足度	44.市政に関する情報提供(0.28) 【前回 2.23 → 今回 2.51】	26.交通安全の推進(0.26) 【前回 2.44 → 今回 2.70】	24.風水害、地震などの自然災害対策(0.26) 【前回 2.19 → 今回 2.45】	4.下水道の推進(0.15) 【前回 2.52 → 今回 2.67】	32.バスなどの公共交通機関の充実(0.13) 【前回 2.13 → 今回 2.26】
重要度	3.上水道の推進(0.36) 【前回 3.29 → 今回 3.65】	10.林業の振興(0.21) 【前回 2.81 → 今回 3.02】	6.ゴミ減量化・資源リサイクルの推進(0.19) 【前回 3.31 → 今回 3.50】	4.下水道の推進(0.15) 【前回 3.29 → 今回 3.44】	12.工業の振興(0.15) 【前回 3.18 → 今回 3.33】

○評価の下がり幅が大きかった上位5項目

()内はポイント

	1位	2位	3位	4位	5位
満足度	16.医療機関の充実(▲0.54) 【前回 2.31 → 今回 1.77】	17.救急医療体制の充実(▲0.34) 【前回 2.21 → 今回 1.87】	9.農業の振興(▲0.31) 【前回 2.39 → 今回 2.08】	11.商業の振興(▲0.30) 【前回 2.30 → 今回 2.00】	21.高齢者福祉の充実(▲0.25) 【前回 2.55 → 今回 2.30】
重要度	26.交通安全の推進(▲0.20) 【前回 3.50 → 今回 3.30】	33.地域情報化(IT化)の推進(▲0.18) 【前回 3.02 → 今回 2.84】	31.道路の整備(▲0.16) 【前回 3.26 → 今回 3.10】	5.公園・緑地(▲0.14) 【前回 3.13 → 今回 2.99】	17.風水害、地震などの自然災害対策(▲0.12) 【前回 3.63 → 今回 3.51】

(2) 満足度の分析

まちづくりの基本方向	項目	項目の説明	関係課	今回	前回	比較	満足度が前回調査と比較して前回より上回った要因、又は下回った要因	満足度を向上させるための取り組み(施策及び対策)	
人と自然が共生するうるおいのあるまちづくり	1 自然環境の保全	・自然緑地・水辺環境の保全 ・森林の公益的機能の維持・増進 ・動植物の保護	市民生活部 (環境課)	2.50	—	—		環境教育事業を推進し、自然保護意識を醸成していく。また、登米市環境市民会議等において、市民と行政が協働で環境保全活動に取り組み、豊かな自然環境を創造する。	
			産業経済部 (農林政策課)					市有林については、森林施策計画に基づき、森林施策を実施する。私有林については、各種補助制度の活用による間伐を推進する。	
	2 自然環境の活用 (又は創造)	・自然に親しめる空間・施設の整備 ・自然を学ぶ場・機会の創出	市民生活部 (環境課)	2.30	—	—		環境教育事業を推進していく。また、登米市環境市民会議等と協働しながら自然を学ぶ機会の創出に取り組んでいく。	
			産業経済部 (農林政策課)					森林資源の活用場として、森林セラピー基地に認定されている登米森林公園等は、多くの市民がより快適に親しめる場となっている。森林公園までの林道整備、環境保全林内の遊歩道等の補修、森林整備を実施し、自然環境の活用・創造を図っていく。	
	3 上水道の推進	・良質な水道水の供給 ・災害に強い水道水の安定供給 ・水道料金の抑制と効率的な経営	水道事業所	2.54	2.52	0.02		これまでの耐震化(給配水管更新や緊急用連絡管工事)などの取り組みが評価されたと考えられる。	水道の将来像とそれを実現するための具体的な施策、工程を示した「登米市地域水道ビジョン」(案)に基づき計画的に実行し、上水道の整備推進を図る。
	4 下水道の推進	・下水道事業(公共・農集排・合併浄化槽)の推進 ・し尿の適正な収集、運搬、処理	市民生活部 (衛生センター)	2.67	2.52	0.15		収集世帯の希望に添った行政区毎の計画収集と臨時収集によりし尿収集している。なお、臨時収集では、申込から遅くとも翌日には対応しており、その点が評価されたと考えられる。	収集については現行通りの計画収集と臨時収集により実施する。処理に当たっては、より安全・衛生的な処理を目標とする。
			建設部(下水道課)					市民の自然環境に対する保全意識の高まりに合わせ、下水道事業の集落説明会等を開催したことにより、生活排水対策の理解や水環境への認識が高まったものと考えられる。	各種の生活排水処理の特徴を生かしながら、効率的に生活排水処理施設の構築を図り、市内の自然環境や生活環境の保全、公共用水域の水質保全に努める。
	5 公園・緑地	・公園や街路樹等の美化、管理 ・地域特性を生かした公園・緑地の整備 ・市民との協働による緑化活動の推進	市民生活部 (子育て支援課)	2.43	2.35	0.08		児童遊園20箇所を年3回点検を実施し、維持修繕に努めているためと考えられる。	遊具の老朽化に対応した計画的な更新と利用状況に応じた施設の見直しを行う。
産業経済部 (農村整備課)			地元行政区及び業者に管理を委託し、定期的に除草作業等を行い、誰でも気軽に利用できる整備を進めてきたためと考えられる。					地域住民のニーズを把握し、利用しやすい公園の整備を図る。	
建設部(都市計画課)			公園・緑地の整備については、満足度が微増しているのは、適切な維持・修繕に努めてきたことによるものと考えられる。					地域の特性に合った施設の整備を図り、利用向上を図る。	
6 ゴミ減量化・資源リサイクルの推進	・4R活動(ゴミになるものを拒む、減らす、再使用する、再生させる)の推進 ・分別収集の徹底 ・生ゴミ等堆肥化・リサイクルの推進	市民生活部 (環境管理課)	2.65	2.68	▲0.03		資源ごみ収集品目に紙製容器包装を追加して、資源ごみは11品目となっている。廃食油回収においては、常時回収場所を設置するなどして収集の向上に努めているが、ごみの分別についてはまだ徹底が図られていないものと考えられる。	資源ごみ回収品目を増やし、資源リサイクルによるごみ減量化推進の取り組みについて、情報提供していただくとともに、環境教育事業を推進し、ゴミを出さない暮らしのため「4R活動(リサイクル・リユース・リデュース・リフュース)」意識を醸成していく。また、登米市環境市民会議において、4R活動の啓発を行う。	
7 地球温暖化対策への取り組み	・省エネルギー・新エネルギーに関する普及啓発 ・エコオフィス運動の推進 ・BDF等クリーンエネルギーの活用	市民生活部 (環境課)	2.17	—	—		環境教育事業を推進し、地球温暖化防止意識を醸成していく。また、登米市環境市民会議において、地球温暖化対策の取り組みを推進する。住宅用太陽光発電システムの設置支援を実施する。		
8 ゴミ処理の適正化・公害の未然防止	・ゴミ収集体制の充実 ・ゴミの不法投棄、騒音、水質など公害対策	市民生活部 (環境課、クリーンセンター)	2.39	—	—		排出マナーの向上を図る。環境教育事業を推進し、公害防止意識を醸成していく。また、環境パトロールにより不法投棄等の監視及びごみの回収を行う。水質については、市内河川・池沼の水質調査を行い水質の改善に取り組む。		

まちづくりの基本方向	項目	項目の説明	関係課	今回	前回	比較	満足度が前回調査と比較して前回より上回った要因、又は下回った要因	満足度を向上させるための取り組み（施策及び対策）
大地の恵みと人の技を生かした活力のあるまちづくり	9 農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営体の強化 ・農業生産の振興・消費の拡大 ・農業関連産業の推進 	産業経済部（農林政策課、農産園芸畜産課、農村整備課）	2.08	2.39	▲0.31	<p>本市の販売農家数は全体の約3割なので、回答者の評価結果は消費者の視点とみることができ、「食の安全・安心」がキーワードとなり、食に対する消費者の危機感、不安が市民満足度に大きく影響したと推測される。</p> <p>農家の視点で見た場合は、農業基盤の整備を行い、農業経営体の育成を図ってきたが、原油や化学肥料等の生産資材の値上がり、米価等農産物価格の低迷による農家所得の減少、さらには高齢化など農業を取り巻く情勢が厳しさを増していることが回答に反映したと考えられる。</p>	<p>環境保全を重視した農業を一層推進し、安全・安心な農畜産物の生産に努め、消費者の信頼性の確保に努める。また、道の駅等の直売施設の充実を。また、登米市食材・物産ステップアップ事業により、豊富で新鮮な食材や登米ブランド認証品などの地場産品を消費者との交流を図りながら認知度及び評価を高める。</p> <p>さらに、登米市農畜産物等の消費・流通の拡大を図るため、農工商連携による地産地消流通システムを構築するとともに、都市部での販売活動など、多様な流通ルートの開拓に努め、農家所得の向上を目指す。</p> <p>また、登米市食料・農業・農村基本計画、一日一徳円創出プランに基づき、補助事業の導入や支援策により、農畜産業の振興、生産基盤の整備を図り、農業経営の活性化に努める。</p> <p>稲作については、環境保全型農業の推進を基本にし、水田農業構造改革対策事業により機械整備を図る。園芸は、園芸作物機械施設整備事業を活用し作業の効率化・規模拡大を推進するとともに、園芸作物生産安定対策事業により青果物の組織的な安定生産を図る。畜産では、和牛ブランド推進事業、畜産総合振興対策事業、畜産担い手育成総合整備事業等により、登米産牛の優位性の確保、畜産生産条件整備及び担い手の育成確保を目指す。</p> <p>さらに、経営体育成基盤整備事業によりほ場整備を一層推進し、農地の汎用化、有効利用を図るとともに、農道整備事業等により、生産基盤及び農村環境の整備を図る。</p>
	10 林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の近代化と地域産材の産地形成 ・地域産材、特用林産物の生産性向上と販路の拡大 ・森林の多面的機能の保全 	産業経済部（農林政策課）	2.25	2.42	▲0.17	<p>市有林・私有林について、森林施業計画に基づき、各種補助事業を活用し造林、間伐等の森林施業を実施してきたが、木材価格の低迷が続いているためと考えられる</p>	<p>市有林については、森林施業計画に基づき、適切な森林施業を実施する。森林の持つ多面的機能を十分に発揮するため、広葉樹の積極的な植林及び間伐を実施し、針葉樹と広葉樹の混交林化、複層林化及び長伐期施業など多様な森林整備を推進する。</p> <p>基盤整備として、間伐の搬出経費の削減等による林業活性化のため、林道事業やふるさと林道緊急整備事業により、林道を開設する。</p> <p>私有林については、森林育成事業や美しい森林づくり基盤整備交付金事業等の各種補助制度の積極的活用による間伐を推進する。</p> <p>地場産材による公共施設の木造木質化の推進を図る。あわせて、市民に地場産材の活用をPRする。</p>
	11 商業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・商業者への支援体制の強化 ・商店街の活性化 	産業経済部（商工観光課）	2.00	2.30	▲0.30	<p>登米市では、商店の集積度が低いうえ、廃業する店舗の増加により虫食いの空き店舗が発生している。少子高齢化社会が進行するなか、今後、地元商店街に期待する部分大きい。しかし、実際は三陸道登米ICの開通により、市内外の大型店へ気軽に買い物に出かけることが可能となり、不景気も相まって地元商店街の売り上げは年々減少傾向にある。そのため、商店街は活気がなく消費者ニーズを満たすことが困難となってきており、市民の満足度が低いものと考えられる。</p>	<p>地域商店街の主体的な行動を引き出し、廃業する店舗の増加により虫食いの空き店舗が発生している。少子高齢化社会が進行するなか、今後、地元商店街に期待する部分大きい。しかし、実際は三陸道登米ICの開通により、市内外の大型店へ気軽に買い物に出かけることが可能となり、不景気も相まって地元商店街の売り上げは年々減少傾向にある。そのため、商店街は活気がなく消費者ニーズを満たすことが困難となってきており、市民の満足度が低いものと考えられる。</p> <p>地域商店街の主体的な行動を引き出し、買物、憩い、交流の場として市民に親しまれ、魅力のある商店街づくりを進めることが必要となる。20年3月に策定した登米市商店街活性化計画を基に各商店街が実施する活性化の取り組みを支援し、空き店舗活用事業を実施する。また、平成20年度から取り組んでいる商店街にぎわいづくり戦略事業の実施が起爆剤となり、商業をはじめ、観光、農業まで波及すると思われることから、関係機関が連携を図り実施する。</p> <p>消費者と商店街とのふれあいを図るため、地域共通商品券（とめっこマネー）の一層の活用を促進に努める。</p>

まちづくりの基本方向	項目	項目の説明	関係課	今回	前回	比較	満足度が前回調査と比較して前回より上回った要因、又は下回った要因	満足度を向上させるための取り組み(施策及び対策)
大地の恵みと人の技を生かした活力のあるまちづくり	12	工業の振興 ・既存企業や起業者への支援 ・企業誘致の推進	産業経済部 (商工観光課・新産業対策室)	1.95	2.16	▲0.21	各種制度を通じ既存企業や起業者への支援を図るとともに、企業との交流及び工業地情報の提供を行うなど、新規企業が参入しやすい環境整備を進めていたが、調査時点で新たな企業誘致が少なかったためと考えられる。	企業立地セミナーへの参加や、企業訪問による誘致活動を進める。既存企業への支援については、国などの融資制度や、新たな事業を展開する場合の補助制度を紹介するなど支援を行う。 新たな工業団地(長沼)を取得し、価格の優位性をPRしながら企業誘致に努める。
	13	観光の振興 ・滞在型観光の推進 ・観光案内機能の強化 ・グリーン・ツーリズム等の推進	産業経済部 (商工観光課)	2.15	2.27	▲0.12	仙台宮城DCの実施等観光客の誘客の取組み、観光案内板等の設置などの観光案内機能の強化、中学生の宿泊体験の受け入れ等各種取組みを行ったが、不況、地震等の影響で団体の観光客等が減少したためと考えられる。	・仙台宮城伊達な旅キャンペーンを実施し、積極的な情報発信とPRを行い観光客の誘客を図る。 ・伊達な広域観光推進協議会の参画や石巻園との観光連携等を推進し観光客の誘客を図る。 ・観光トイレ及び長沼フットピア公園のふるさと館の改修等観光施設の整備を行い観光施設の機能の向上を図るとともに観光案内看板を設置し観光案内機能の強化を図る。 ・中学生の宿泊農業体験学習の受け入れを推進するなどグリーンツーリズム事業の推進を図る。 ・登米IC開通に伴い、観光地の環境整備を図る。
	14	雇用対策・起業支援 ・雇用機会の確保・創出 ・アグリビジネス等の推進 ・新産業の育成支援	産業経済部 (商工観光課)	1.86	1.87	▲0.01	全国的には経済が回復しているといわれていたが、地方経済はまだまだその恩恵にあずかっているとはいえない現状がある。登米市においても、有効求人倍率が前回調査(平成17年度)の平均0.57から今回調査(20年8月)の有効求人倍率0.51と下がっていることから、雇用面での環境悪化が反映しているためと考えられる。	企業立地セミナーへの参加や、企業訪問による誘致活動を行なう。 市内企業のガイドマップ作成やホームページでの紹介による、受注機会の拡大を目指し、雇用の場の確保を図る。 現下の雇用失業情勢に鑑み、緊急雇用対策を実施し、生活の安定に努める。 ビジネスチャンス事業を活用しながらアグリビジネス等を推進する。また、農工商連携による地産地消流通システムの事業化を進め、新たな事業展開を推進する。
安全に安心して暮らせるやすらぎのあるまちづくり	15	保健・検診サービスの充実 ・生活習慣病予防のための健康づくり ・心の健康づくり ・母と子の健康づくり	市民生活部 (健康推進課)	2.56	2.75	▲0.19	H20年度から、特定健診となり医療保険者が健診の実施主体となった。各保険者が特定健診への移行がスムーズにいかなかったこと、内容周知が徹底されなかったこと、市立病院での小児科医療、市内の産科医不足等に対する不安が大きいため、また、子育てに関してはニーズが多様化していること等が主な要因と考えられる。	健診については、その実施内容について、あらゆる機会に周知を図り、市民の理解を得ていく。無料検診は本年度も実施すると共に、特定保健指導(健診から対象者が選定される)の充実を図り、健診後の保健指導を広く実施する。 啓発のため、各種の研修会・講座を開催。相談窓口の周知等を図る。 妊婦健診・出産後の相談体制・新生児訪問・乳幼児健診・子育て支援事業・学校保健と一貫したサービスの提供のため、関係機関との連携を図る。
	16	医療機関の充実 ・市立病院、民間病院及び診療所間の連携強化	医療局(医療管理課)	1.77	2.31	▲0.54	医師不足や施設の老朽化により、病床数の削減や、産婦人科、小児科の入院を休止したことで、地域医療の確保に対する不安が増したためと考えられる。	医師招聘の取組の強化とともに、一次診療から三次診療までの医療機関へのかかり方を正しく理解してもらう。地域包括医療体制を充実させるために、地域医療連携室の機能強化を図ると共に、医療機関との連携を強化する。
	17	救急医療体制の充実 ・休日急患当番医制の充実 ・休日・夜間の24時間対応救急医療体制の充実	市民生活部 (健康推進課) 消防本部(消防総務課、警防課) 医療局(医療管理課)	1.87	2.21	▲0.34	休日の乳幼児急患の受け入れ先が限られている。また市外の医療機関では受診を断られる場合も生じていることが、反映したと考えられる。 医師不足により、佐沼病院においては小児救急の受け入れを休止するなど、専門外での救急対応が困難になる傾向にある。また、その時々々の状況で救急の受入に応じられない場合も生じていることが、反映したと考えられる。	休日診療であっても、科別(産科、小児科等)に当番医を配置できるように、小児科・産科医師の確保に努める。 高規格救急自動車を増車し、救急救命士を育成する。 当面、応援医師の招聘に最大限努めているが、長期的には常勤医師の育成・招聘策である奨学金貸付制度により医師の招聘に努める。
18	社会保障の充実 ・国民健康保険制度の適正な運用 ・後期高齢者医療制度の適正な運用 ・国民年金制度の適正な運用	市民生活部 (国保年金課)	1.79	—	—		国民健康保険制度や後期高齢者医療制度、国民年金制度の内容を理解していただくため周知・啓発に努める。	

まちづくりの基本方向	項目	項目の説明	関係課	今回	前回	比較	満足度が前回調査と比較して前回より上回った要因、又は下回った要因	満足度を向上させるための取り組み（施策及び対策）
安全に安心して暮らせるやすらぎのあるまちづくり	19	地域福祉の推進 ・地域全体で支え合う福祉体制の整備 ・地域福祉に関わる組織・人材の育成、強化	市民生活部（長寿介護課）	2.29	—	—		平成19年度に策定した登米市地域福祉計画に基づく地域福祉の推進に向けた地域ボランティア事業などの施策を展開していく。
	20	児童福祉、子育て支援の充実 ・保育の充実強化 ・放課後児童対策の充実 ・子育て支援の充実	市民生活部（子育て支援課）	2.35	2.40	▲0.05	・放課後児童対策として、未設置地域への整備や待機児童解消のための定員増を図ってきたが、利用者が原則保育に欠ける1～3年生までとしており、4年生以上の利用ができない状況であるためと考えられる。	・老朽化している保育施設の整備推進を図る。一時保育や延長保育の事業実施の拡充を図る。 ・放課後児童対策として、児童クラブと子ども教室の連携を図り、放課後の保育に欠ける児童の安全安心を図る。 ・地域の子育て支援ニーズの把握と地域の子育て支援資源の有効活用を図りファミリーサポート事業の充実を図る。
	21	高齢者福祉の充実 ・介護予防と生きがいづくりの推進 ・高齢者福祉施設の整備 ・高齢者の生活環境の整備	市民生活部（長寿介護課）	2.30	2.55	▲0.25	・介護保険施設の待機者が、前年度より多くっており、早急な施設整備が必要と推察される。 ・高齢者福祉事業について、平成18年度以降、事業の一部について要綱等の見直し等を行なったことに伴い、助成金等が減額になったことによるものと考えられる。	・介護予防事業の利用促進のため、啓発活動に努める。 ・第4期介護保険事業計画に基づき特別養護老人ホーム及び老人保健施設の整備を図る。 ・平成21年3月に策定した、高齢者福祉計画に基づき取り組みを行なう。
	22	障害者福祉の充実 ・障害者福祉サービスの充実 ・自立と就労、地域生活移行への支援 ・家庭への支援と交流の場の確保	市民生活部（生活福祉課）	2.35	2.51	▲0.16	障害者自立支援法の施行により、新体系の障害福祉サービスの提供が進んだ反面、制度やサービスの充実が望まれていると考えられる。	個々の障害者のニーズに合った福祉サービスの把握に努め、事業者と連携し安心して利用できる環境の整備に努めていく。
	23	消防・救急救助体制の充実 ・消防団活動の充実 ・消防施設・車両整備、高度救急自動車の配置 ・救急救命士の養成、応急手当の普及啓発	消防本部（消防総務課、警防課）	2.68	2.77	▲0.09	病院の再編問題などによる影響と思われるが、診療所化により救急体制の不安などがあつたと考えられる。 また、消防署、5出張所からの6.5分エリアから外れる地域もあることから、このことに対する不安もあると考えられる。	アンケート実施後の平成20年10月から消防署出張所に順次、高規格救急自動車を配置し、救急救命士の育成を図る。 平成20年10月 西出張所、東出張所 平成21年 4月 南出張所 平成22年 3月 北出張所配備予定（運用は4月から） 出張所は、整備計画に基づき計画的に整備していく。
	24	風水害、地震などの自然災害対策 ・防災訓練、防災パトロールの実施 ・自主防災組織の結成、育成・強化 ・治水・砂防・治山対策による自然災害の未然防止	総務部（防災課）	2.45	2.19	0.26	登米市地域防災計画に基づく安全・安心なまちづくり対策として、自主防災組織の結成の促進や情報伝達手段としての防災ラジオの普及、洪水ハザードマップの全戸配布等の取り組みが評価されたと考えられる。	日ごろの災害の備えに対する啓発と実践に即した訓練を通して、防災意識の高揚を図る。 自主防災組織の100%結成を図り、防災ラジオの一層の普及を図る。
	25	防犯対策の推進 ・防犯組織の育成・関係団体との連携 ・防犯施設の整備 ・防犯教育、意識の啓発	市民生活部（市民生活課）	2.37	2.44	▲0.07	現状では防犯協会等の団体がそれぞれの計画に基づき独自に活動しているのが、相互の連携が十分でないこと等が影響していると考えられる。	全市的な啓発活動を推進するために、各町域の防犯組織及び関係機関・団体を構成員とする連絡調整組織の設立を検討する。 防犯灯の計画的設置に努める。
	26	交通安全の推進 ・交通安全関係団体との連携、交通安全パトロール ・交通安全施設の整備 ・交通安全教育、意識の啓発	市民生活部（市民生活課）	2.70	2.44	0.26	市が実施している事業（高齢者運転免許自主返納支援事業、死亡事故ゼロ表彰）や啓発活動だけではなく、登米市交通安全対策協議会を核とした交通安全関係団体が、交通安全週間等における重点的な事業の実施及び定期・不定期の啓発活動を行ったことにより、交通安全意識が広く市民に浸透している表れと考えられる。	児童・生徒及び高齢者に対する交通安全教育活動に更に力を傾注し、市民の交通安全に対する意識の高揚を図る。
	27	消費生活の安定と向上 ・相談体制の充実 ・消費者問題に関する啓発活動の充実	産業経済部（商工観光課）	2.31	—	—		平成20年度から消費生活相談体制を充実させるため、消費生活相談員を3名体制とし、消費者金融に関する日曜日相談業務を実施。また、市民生活の安心安全を守るため、消費者情報の発信が迅速に対応できる体制整備として国民生活センターと全国消費生活情報ネットワークシステムとなる端末機の新規配備を行い消費者行政整備の体制を整える。

まちづくりの基本方向	項目	項目の説明	関係課	今回	前回	比較	満足度が前回調査と比較して前回より上回った要因、又は下回った要因	満足度を向上させるための取り組み(施策及び対策)
便利で快適に暮らせるゆとりのあるまちづくり	28	計画的な市街地の整備 ・計画的な土地利用の推進 ・都市計画の見直し ・魅力ある中心市街地の整備、再生	建設部(都市計画課)	2.18	—	—		基本方針の実現化に向けて、都市計画区域の再編や、用途地域・都市計画道路網の見直しを実施する。(平成19年度から事業着手、平成23年度完了予定。)
	29	居住環境の整備 ・公営住宅の整備、維持・改善 ・生活道路や身近な公園、下水道整備 ・耐震診断の実施	建設部(建築住宅課)	2.29	—	—		公営住宅の状況把握を実施し不具合箇所等の補修を行い、住環境保全を図ると共に、定住促進住宅の設置を図る。
			建設部(都市計画課)					地域の特性に合った施設の整備を図り、市民の利用向上を図る。
			建設部(下水道課)					各種の生活排水処理の特徴を生かしながら、効率的に生活排水処理施設の構築を図り、市内の自然環境や生活環境の保全、公共用水域の水質保全に努める。
	30	良好な町並み、景観の形成 ・地域特性に応じた美しい景観の形成 ・環境美化の推進	建設部(都市計画課)	2.43	—	—		地域固有の特性を住民が一体となって保全する意識を啓発させる取り組みを実施する。 景観行政団体の指定を受けたことにより景観条例の制定を図る。
	31	道路の整備 ・市域の骨格を形成する幹線道路の整備 ・アクセス道路の整備 ・生活関連道路の整備	建設部(道路課)	2.50	2.50	0.00	現在の総合計画で位置付けられている事業については、それぞれの地域の地域政策事業や旧町の町域事業、課題事業を中心に事業を展開中であり、市民ニーズに合致した事業を行っている。	活動的なまちづくりの推進に向け、市内地域間を結ぶ幹線道路の整備と、市民生活に身近な生活道路の整備を推進し住民の利便性を考慮した道路網の構築を計画的に進める。
	32	バスなどの公共交通機関の充実 ・バス交通の充実 ・鉄道利用の利便性向上	企画部(企画振興課)	2.26	2.13	0.13	市民バスの運行経路及び運行時間など市民ニーズにできる限り沿い、気軽に乗れるワンコインバスとして運行してきたことによるものと考えられる。	市民ニーズを把握し運行計画に反映させ、通院・通学・高齢者・障害者が利用しやすいように常に見直しを行う。
			建設部(都市計画課)				平成20年3月に、都市交通計画マスタープランを公表したことで将来像が見えたことによるものと考えられる。	利用者の利便性を図るために石越駅前周辺の整備を図る。
	33	地域情報化(IT化)の推進 ・情報通信基盤の整備 ・IT化の推進 ・公共施設間情報ネットワークの構築	企画部(企画振興課)	2.38	2.25	0.13	人口集中地域を中心とした光ブロードバンド整備が進み通信環境が改善されていることや、高速通信技術を利用した情報機器の利用が進んでいることによるものと考えられる。	情報化の格差を解消し、市街地以外の地域においても快適な情報機器の活用ができるよう光通信網等の高速通信環境の整備を図る。
			教育委員会(生涯学習課)				生涯学習分野における情報教育推進並びに地域情報化の拠点は登米市視聴覚センターが担当している。(生涯学習計画) 視聴覚センターにおけるICT(情報通信技術)関連講習会等は、年々充実してきている。 また、視聴覚センターのサーバーを活用し、生涯学習施設のみならず市内小中学校ホームページを配信している現状によるものと考えられる。	生涯学習の中のICT(情報通信技術)が占める領域は、今後飛躍的に拡大していくものと考えられる。こうした生涯学習の形態に対応すべく、研修会・講習会のより一層の充実を図る。 とくに、ホームページ作成講習会は、総合型地域スポーツクラブのホームページ配信の実績があり、このような手法を用いて、今後とも生涯学習施設の情報発信に必要な手段の構築を図る。 小中学校における情報教育を推進する。

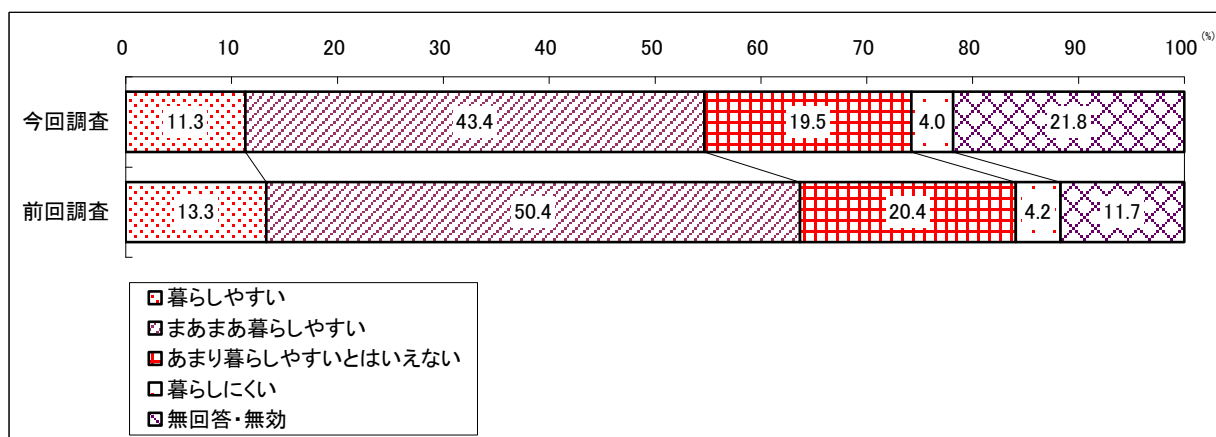
まちづくりの基本方向	項目	項目の説明	関係課	今回	前回	比較	満足度が前回調査と比較して前回より上った要因、又は下った要因	満足度を向上させるための取り組み(施策及び対策)
豊かな心と個性を育むふれあいのまちづくり	34	幼児教育の充実 ・教育内容の充実 ・教育環境の整備、充実	教育委員会 (学校教育課)	2.49	—	—		生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼稚園教育において、基本的な生活習慣や望ましい社会性、課題発見・課題解決能力を身につけ、健全な心身の発達を図る。
	35	小・中学校教育の充実 ・小・中学校学習指導の推進 ・生徒指導の充実	教育委員会 (学校教育課)	2.47	2.56	▲0.09	小学校の統合があり、子どもたちの教育環境の変化が保護者の不安要因となったことが考えられる。	学習のサイクル化やワークショップ型校内研修の導入を図るとともに、学習課題・評価等関連するホームページの構築を推進する。また、心の教育の充実や小中一貫教育の推進、教職員の研修の充実強化を図る。
	36	小・中学校施設の整備 ・学校教育施設の適正配置 ・学校教育施設の耐震補強、大規模改造	教育委員会 (教育総務課)	2.55	2.55	0.00	前回と同数値だが、満足度の順位は9位(48設問中)となっている。全校の耐震補強整備の完了などが一定の評価を得たと考えられる。	引き続き学校施設の整備に努め、児童、生徒が安全に学習活動が行える環境をつくる。
	37	生涯学習の充実 ・生涯学習機会の充実 ・生涯学習施設の整備、充実 ・地域における人材の育成	教育委員会 (生涯学習課)	2.50	2.60	▲0.10	各教育事務所を中軸として生涯学習の充実を目指しているが、住民ニーズの多様化に対応できない部分があったことが考えられる。	市民の情報発信を的確に捉え、学習メニューの工夫を図る。
	38	スポーツ・レクリエーションの振興 ・生涯スポーツの推進 ・競技力の向上事業 ・社会体育施設の管理運営	教育委員会 (生涯学習課)	2.63	2.70	▲0.07	生涯スポーツの振興のための総合型地域スポーツクラブが全地域に設立されていない。競技力の向上のための施設・環境整備がまだ十分整備されていないためと考えられる。	体育協会がNPO法人化したことを受け、組織体制を確立し、さらなる競技力の向上を図る。また、総合型地域スポーツクラブの拡充を図り、平成23年度までにすべての地域において活動できるよう推進するとともに、スポーツクラブ連絡協議会においてクラブ相互の連携を図り、生涯スポーツの振興を推進する。
	39	青少年の健全育成 ・青少年関係団体への支援 ・家庭・地域・学校の連携 ・地域社会で活動する機会の拡大	教育委員会 (生涯学習課)	2.47	—	—		家庭、地域、学校等の連携のもとに、地域社会で活動する機会の拡大を図りながら、地域ぐるみで青少年の「心の教育」に取り組むための環境づくりの支援事業を推進する。 青少年の活動の場として、文化施設・体育施設・公民館等の有効活用を図りながら、青少年組織の育成を支援する。
	40	地域間交流や国際交流の推進 ・地域間交流の推進 ・国際交流の推進 ・青少年国際交流事業の実施	企画部(企画振興課) 教育委員会 (生涯学習課)	2.53	2.42	0.11	海外姉妹都市との協定の再締結、市協会・県協会等との協働事業を推進し、市民にも広く周知できたためと考えられる。 市青少年海外派遣受入事業が定着化してきたことが主に考えられる。	国際交流協会等の組織力強化及び活動を支援し、より活発で効果的な国際交流活動を推進するとともに、外国人が快適に生活できる環境の整備を進める。 具体の事業を推進する国際交流協会等の交流団体の活動を支援する。
	41	文化・芸術活動の推進 ・心を拓く文化・芸術活動の推進 ・文化・芸術施設の充実、整備	教育委員会 (生涯学習課)	2.54	—	—		サトル・サトウ・アート・ミュージアムや新たにオープンする高倉勝子美術館の運営など文化・芸術を鑑賞する機会や発表する機会を創出する。 また、文化協会が行う文化振興活動を支援する。
	42	文化財等の保護・継承 ・文化財等の保護・継承 ・文化財保護施設の整備	教育委員会 (生涯学習課)	2.63	—	—		指定文化財の広報紹介や博物館での展示等で、市民に市内文化財を認識してもらおう。 また、教育資料館等の指定文化財となっている施設を利用し、文化財活用による観光客誘致を図る。

まちづくりの基本方向	項目	項目の説明	関係課	今回	前回	比較	満足度が前回調査と比較して前回より上回った要因、又は下回った要因	満足度を向上させるための取り組み(施策及び対策)
市民の創造力を生かした協働のまちづくり	43	市民への市民参加 ・市民だれもがまちづくりに参加しやすい環境の整備	企画部(市民活動支援課)	2.34	2.22	0.12	協働のまちづくり指針に基づく全庁的な推進体制の構築と協働のまちづくりフォーラムや地域協働ミーティングなど、市民対話型の意識啓発事業の実施による市民の関心と参加・参画意識の向上が評価につながったと考えられる。	市民が誰でも市政に参加しやすい環境をつくり、市民が主体的にまちづくりに参加できるよう、「(仮称)登米市まちづくり基本条例」の制定に向けた取り組みを進める。さらに、市民と市が持っている知識や技術、経験等を地域づくりに生かす仕組みとして、地域協働まちづくり事業の拡充を図る。
	44	市政に関する情報提供 ・広報・公聴活動の充実	総務部(市長公室)	2.51	2.23	0.28	市民に親しみやすい広報紙の作成に努めた。またホームページにおいては常に新しい情報の提供に努めると共に、メール配信サービスの機能強化を図った。 また、市政モニターの設置や出張市役所、移動市長室、市長への提言箱、市長へのメール、パブリックコメントなど実施しているためと考えられる。	市政モニターの任期を1年から2年とし、さらにモニター会議の回数を増やすことにより、広報・公聴活動の充実を図る。 メール配信サービスの普及を図る。
		・情報公開の推進	総務部(総務課)				行政情報は、開示を原則としている。 文書の作成及び保管が適正に行われるように徹底を図る。	
	45	男女共同参画社会の推進 ・男女共同参画の環境づくり ・男女共同参画の推進	企画部(市民活動支援課)	2.49	2.40	0.09	男女共同参画基本計画、行動計画に基づく意識啓発事業による市民の理解と社会参画意識が向上したためと考えられる。	男女が共に認め合い、共生するまちを目指し、「(仮称)男女共同参画条例」の制定に向けた取り組みを進める。 また、意識啓発事業や地域参画講座を実施し、市民が個性と能力を發揮しながら、様々な課題の解決に取り組めるよう推進する。
	46	地域の自治・コミュニティ活動の推進 ・个性的で魅力的な地域づくりの支援	企画部(市民活動支援課)	2.56	2.55	0.01	地域の資源や个性的な地域づくりを支援するため、地域リーダーの育成や地域づくり計画の推進が評価につながったと考えられる。	个性的で魅力的な地域づくりを支援するため、地域の担い手となる人材育成事業として、「地域次世代リーダー養成講座」を継続的に実施する。 また、地域の将来ビジョンとなる計画づくりとして、「市民が創る地域のまちづくり計画」のモデル策定支援及び実行支援並びに全市的な展開を行う。
		・地域コミュニティ活動の充実	教育委員会(生涯学習課)				公民館施設等の自主運営化に向けた地域コミュニティ再編により、組織の充実度が高まったためと考えられる。 市全域による公民館等の自主運営に向けた地域コミュニティ再編による組織の強化を図る。	
	47	調和と均衡ある地域の発展 ・地域ごとのまちづくりの推進	企画部(市民活動支援課)	2.44	-	-	-	地域の特性や多様性を生かした地域づくりを進めるため、地域住民が主体的に活動し、自分たちで創造していくという地域力向上を目指し、「市民が創る地域のまちづくり計画」の策定支援及び実行支援を行う。
		・地域審議会の充実	企画部(企画振興課)					地域課題の把握に努め、的確な情報提供を行うとともに活動の支援に努める。
	48	行財政改革の推進 ・行政組織の適正化 ・行政サービスの向上 ・効率的な財政運営	企画部(行政改革推進課、財政課)	2.19	2.11	0.08	行財政改革大綱に基づき、事務事業の見直し、定員管理の適正化、公共施設の管理運営の見直し、適正な予算執行等を推進してきたことが評価されたと考えられる。	行財政改革大綱実施計画に基づき、計画の進捗状況、実施内容を検証しながら計画的に推進する。

【 登米市の暮らしやすさ 】

問2 総合的に見て、登米市は暮らしやすいまちですか？

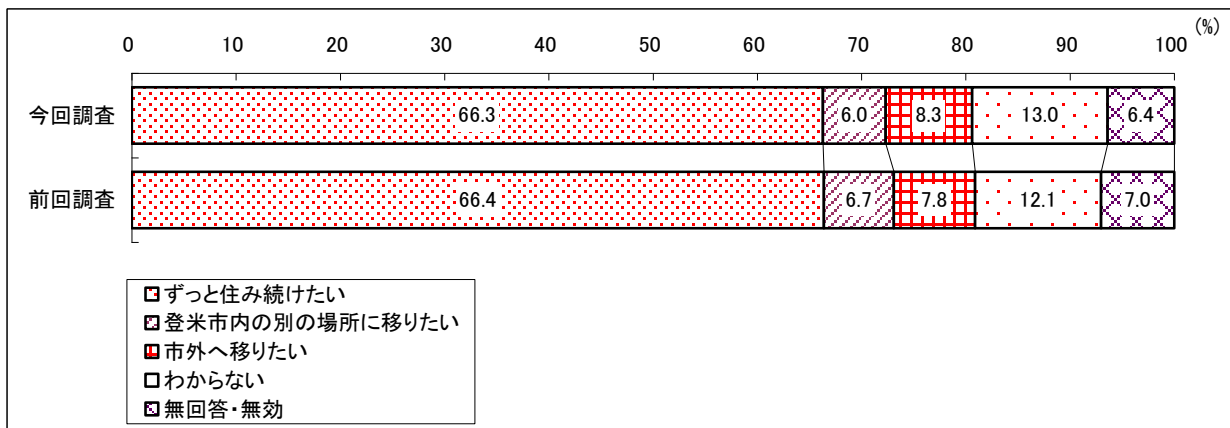
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 暮らしやすい	454	11.3	510	13.3	-56	-2.0
2 まあまあ暮らしやすい	1,738	43.4	1,930	50.4	-192	-7.0
3 あまり暮らしやすいとはいえない	783	19.5	780	20.4	3	-0.9
4 暮らしにくい	159	4.0	160	4.2	-1	-0.2
無回答・無効	875	21.8	446	11.7	429	10.1
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 定住意向 】

問3 あなたは、今後も現在お住まいの場所に住み続けたいですか？

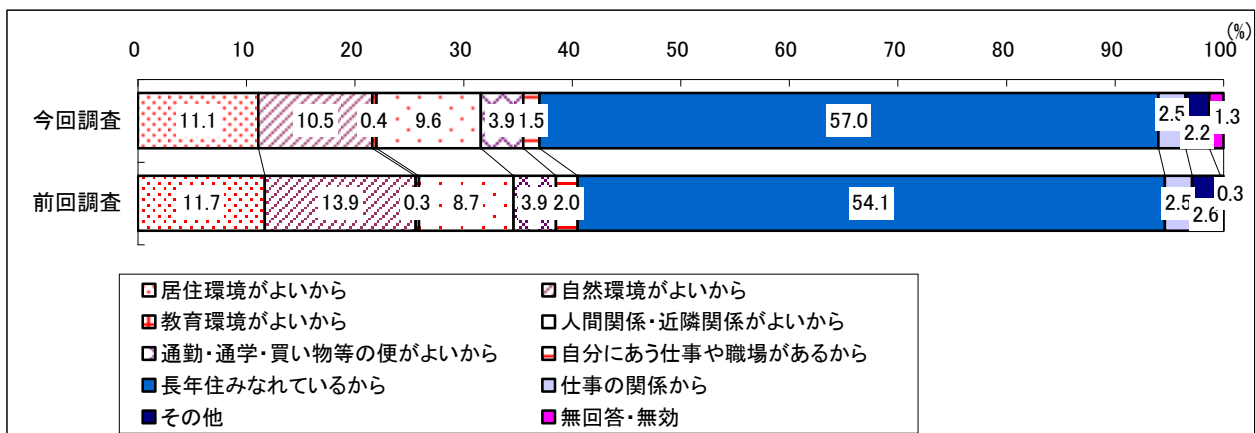
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 ずっと住み続けたい	2,660	66.3	2,540	66.4	120	-0.1
2 登米市内の別の場所に移りたい	241	6.0	256	6.7	-15	-0.7
3 市外へ移りたい	332	8.3	298	7.8	34	0.5
4 わからない	520	13.0	465	12.1	55	0.9
無回答・無効	256	6.4	267	7.0	-11	-0.6
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 定住したい理由 】

問4 問3で「1. ずっと住み続けたい」と回答した方にお聞きします。
それはどうしてですか。一番大きい理由を次の中から選んでください。

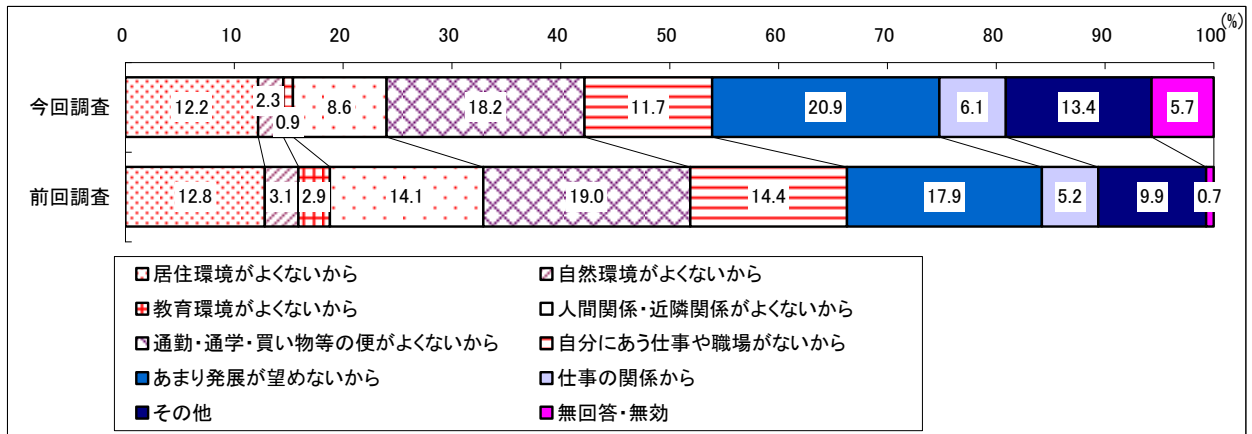
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 居住環境がよいから	295	11.1	296	11.7	-1	-0.6
2 自然環境がよいから	280	10.5	354	13.9	-74	-3.4
3 教育環境がよいから	10	0.4	8	0.3	2	0.1
4 人間関係・近隣関係がよいから	255	9.6	220	8.7	35	0.9
5 通勤・通学・買い物等の便がよいから	104	3.9	100	3.9	4	0.0
6 自分にあう仕事や職場があるから	40	1.5	50	2.0	-10	-0.5
7 長年住みなれているから	1,515	57.0	1,374	54.1	141	2.9
8 仕事の関係から	66	2.5	64	2.5	2	0.0
9 その他	59	2.2	65	2.6	-6	-0.4
無回答・無効	36	1.3	9	0.3	27	1.0
計	2,660	100.0	2,540	100.0	120	0.0



【 転居したい理由 】

問5 問3で「2. 登米市内の別の場所に移りたい」「3. 市外へ移りたい」と回答した方にお聞きします。それはどうしてですか。一番大きい理由を次の中から選んでください。

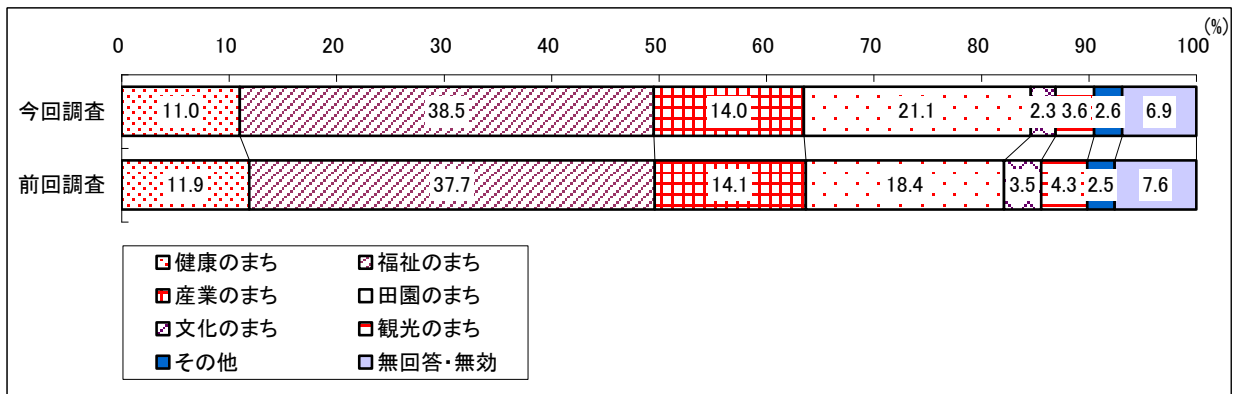
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 居住環境がよくないから	70	12.2	71	12.8	-1	-0.6
2 自然環境がよくないから	13	2.3	17	3.1	-4	-0.8
3 教育環境がよくないから	5	0.9	16	2.9	-11	-2.0
4 人間関係・近隣関係がよくないから	49	8.6	78	14.1	-29	-5.5
5 通勤・通学・買い物等の便がよくないから	104	18.2	105	19.0	-1	-0.8
6 自分にあう仕事や職場がないから	67	11.7	80	14.4	-13	-2.7
7 あまり発展が望めないから	120	20.9	99	17.9	21	3.0
8 仕事の関係から	35	6.1	29	5.2	6	0.9
9 その他	77	13.4	55	9.9	22	3.5
無回答・無効	33	5.7	4	0.7	29	5.0
計	573	100.0	554	100.0	19	0.0



【 登米市の将来イメージ 】

問 6 あなたは登米市の将来イメージとして次のどれが最も望ましいと思いますか？

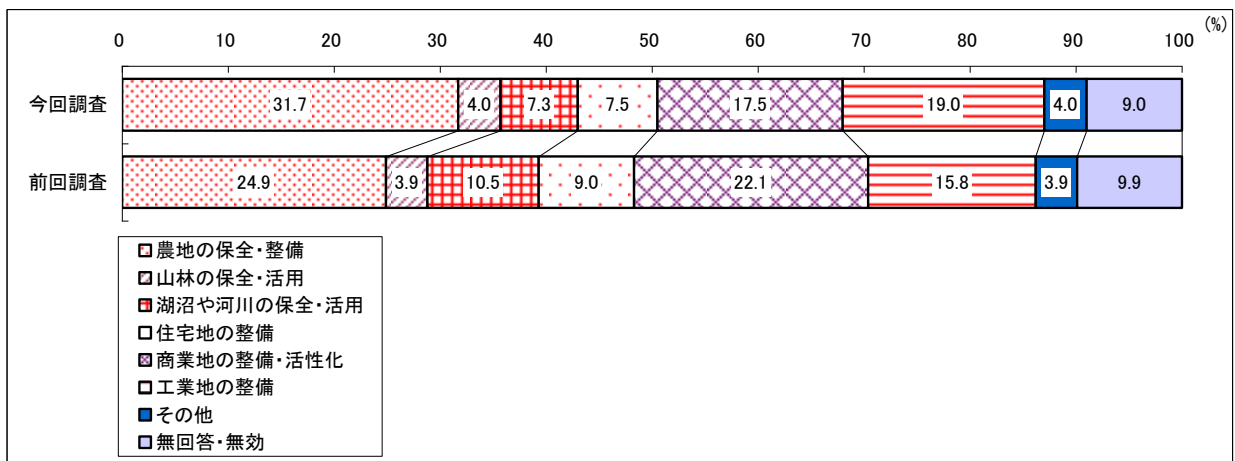
	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 健康のまち	439	11.0	455	11.9	-16	-0.9
2 福祉のまち	1,543	38.5	1,443	37.7	100	0.8
3 産業のまち	563	14.0	538	14.1	25	-0.1
4 田園のまち	844	21.1	705	18.4	139	2.7
5 文化のまち	94	2.3	133	3.5	-39	-1.2
6 観光のまち	146	3.6	164	4.3	-18	-0.7
7 その他	103	2.6	97	2.5	6	0.1
無回答・無効	277	6.9	291	7.6	-14	-0.7
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 地域発展に向けた重点施策 】

問7 登米市の発展に向けて、今後、何を最も重点的に進めていくべきだと思いますか？

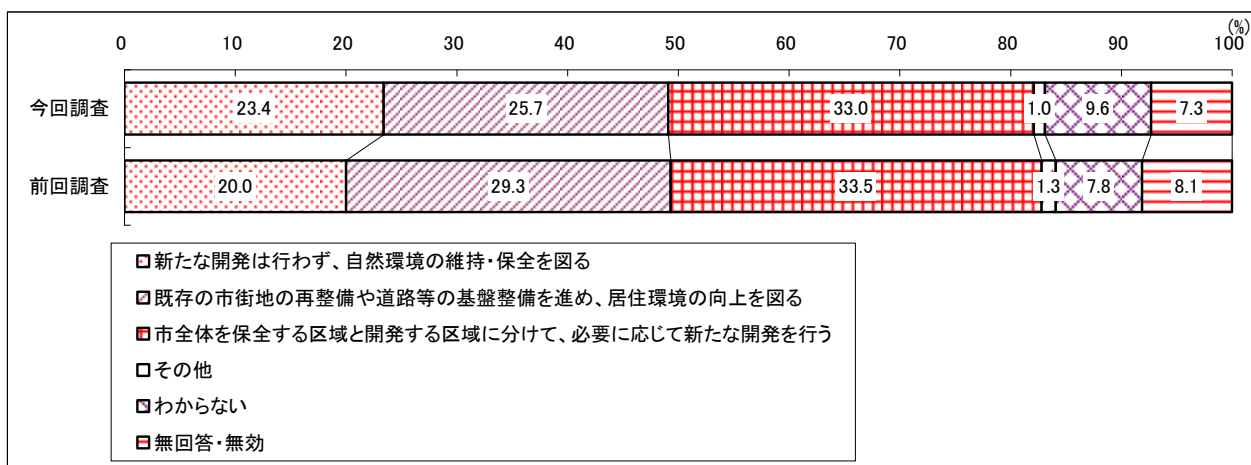
	今回調査		前回調査		比較	
	(票)	(%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 農地の保全・整備	1,269	31.7	951	24.9	318	6.8
2 山林の保全・活用	162	4.0	151	3.9	11	0.1
3 湖沼や河川の保全・活用	294	7.3	402	10.5	-108	-3.2
4 住宅地の整備	301	7.5	343	9.0	-42	-1.5
5 商業地の整備・活性化	700	17.5	846	22.1	-146	-4.6
6 工業地の整備	761	19.0	603	15.8	158	3.2
7 その他	162	4.0	149	3.9	13	0.1
無回答・無効	360	9.0	381	9.9	-21	-0.9
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 都市整備や市街地開発の方向 】

問 8 今後の都市整備や市街地の開発は、どのように考えていくべきだと思いますか？

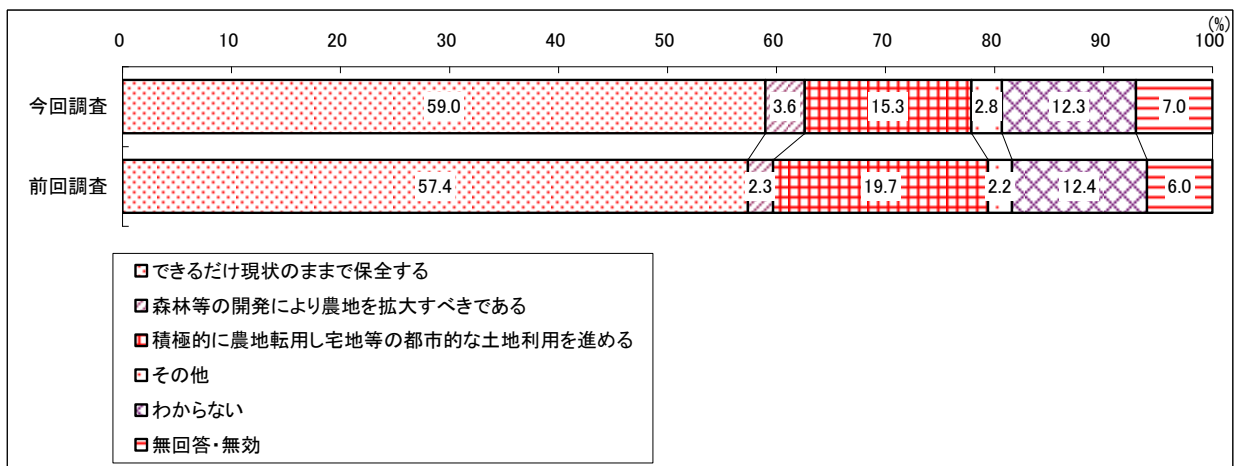
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 新たな開発は行わず、自然環境の維持・保全を図る	937	23.4	766	20.0	171	3.4
2 既存の市街地の再整備や道路等の基盤整備を進め、居住環境の向上を図る	1,031	25.7	1,121	29.3	-90	-3.6
3 市全体を保全する区域と開発する区域に分けて、必要に応じて新たな開発を行う	1,321	33.0	1,281	33.5	40	-0.5
4 その他	41	1.0	49	1.3	-8	-0.3
5 わからない	384	9.6	298	7.8	86	1.8
無回答・無効	295	7.3	311	8.1	-16	-0.8
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 農地のあり方 】

問 9 将来の農地（田・畑）のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか？

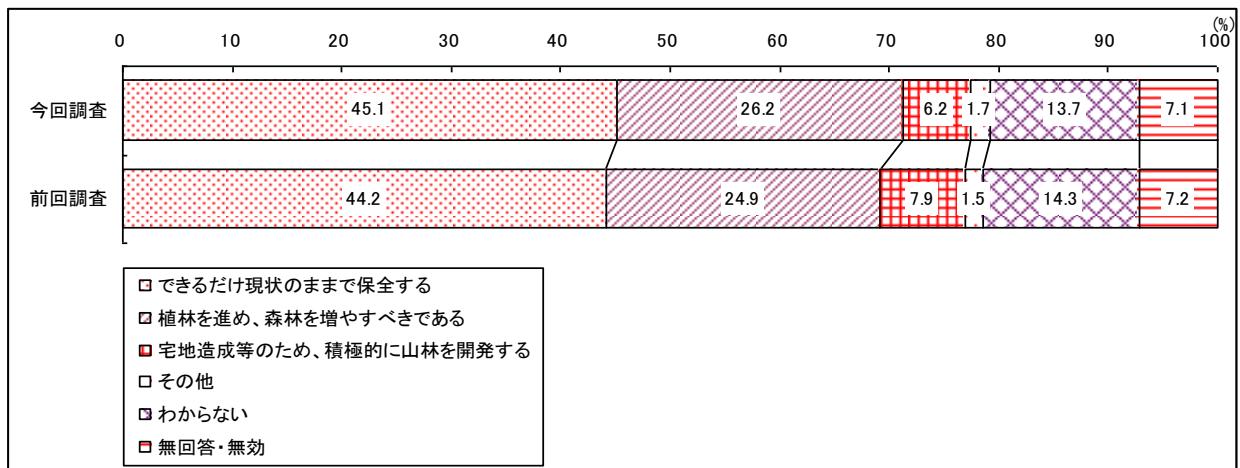
	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 できるだけ現状のままですべて保全する	2,365	59.0	2,195	57.4	170	1.6
2 森林等の開発により農地を拡大すべきである	145	3.6	87	2.3	58	1.3
3 積極的に農地転用し宅地等の都市的な土地利用を進める	613	15.3	754	19.7	-141	-4.4
4 その他	114	2.8	85	2.2	29	0.6
5 わからない	493	12.3	474	12.4	19	-0.1
無回答・無効	279	7.0	231	6.0	48	1.0
計	4,009	100.0	3,826	100	183	0.0



【 山林のあり方 】

問 10 将来の山林のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか？

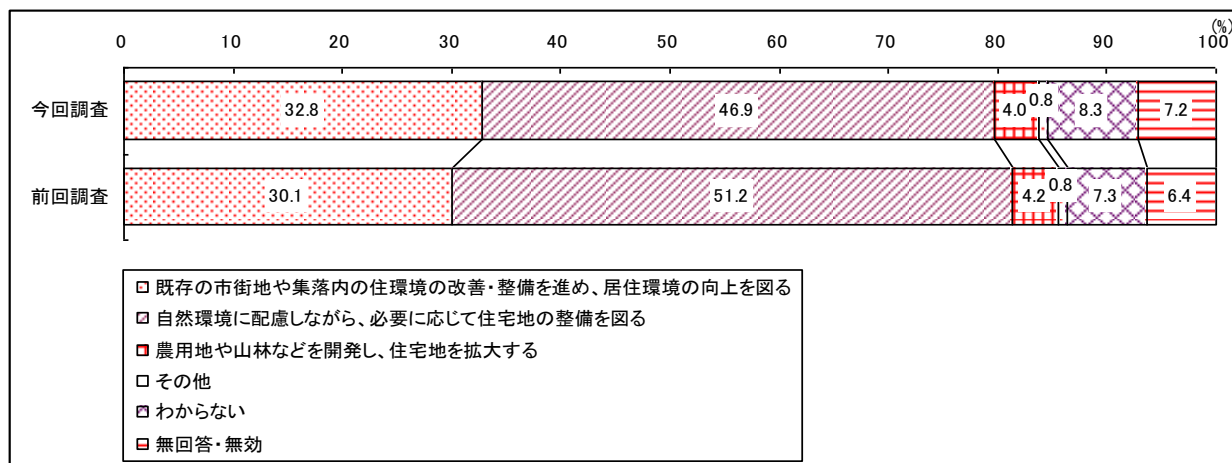
	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 できるだけ現状のままですべて保全する	1,806	45.1	1,693	44.2	113	0.9
2 植林を進め、森林を増やすべきである	1,048	26.2	954	24.9	94	1.3
3 宅地造成等のため、積極的に山林を開発する	250	6.2	301	7.9	-51	-1.7
4 その他	69	1.7	57	1.5	12	0.2
5 わからない	550	13.7	546	14.3	4	-0.6
無回答・無効	286	7.1	275	7.2	11	-0.1
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 住宅地のあり方 】

問 11 将来の住宅地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか？

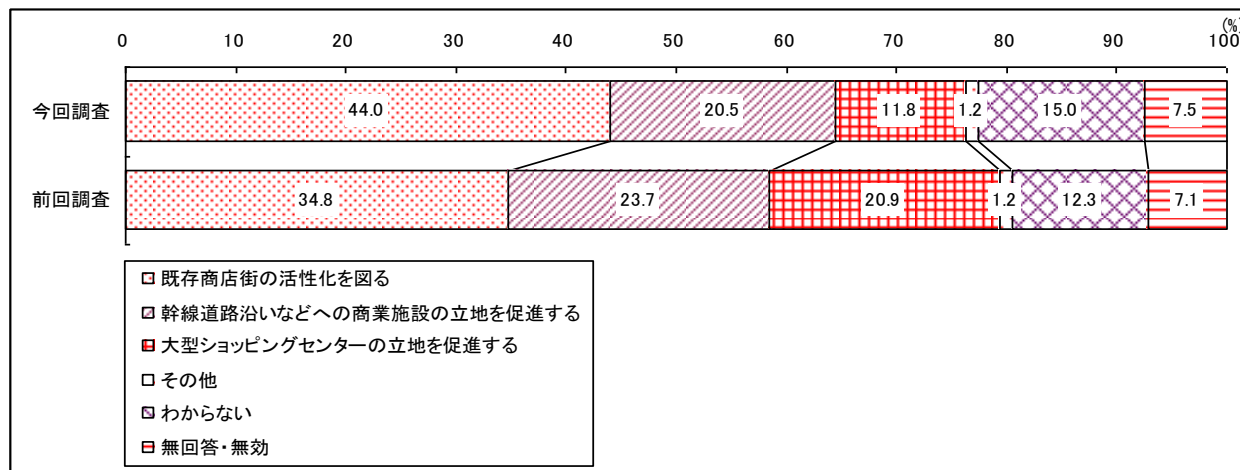
	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 既存の市街地や集落内の住環境の改善・整備を進め、居住環境の向上を図る	1,314	32.8	1,152	30.1	162	2.7
2 自然環境に配慮しながら、必要に応じて住宅地の整備を図る	1,882	46.9	1,960	51.2	-78	-4.3
3 農用地や山林などを開発し、住宅地を拡大する	159	4.0	161	4.2	-2	-0.2
4 その他	33	0.8	29	0.8	4	0.0
5 わからない	334	8.3	279	7.3	55	1.0
無回答・無効	287	7.2	245	6.4	42	0.8
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 商業地のあり方 】

問 12 将来の商業地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか？

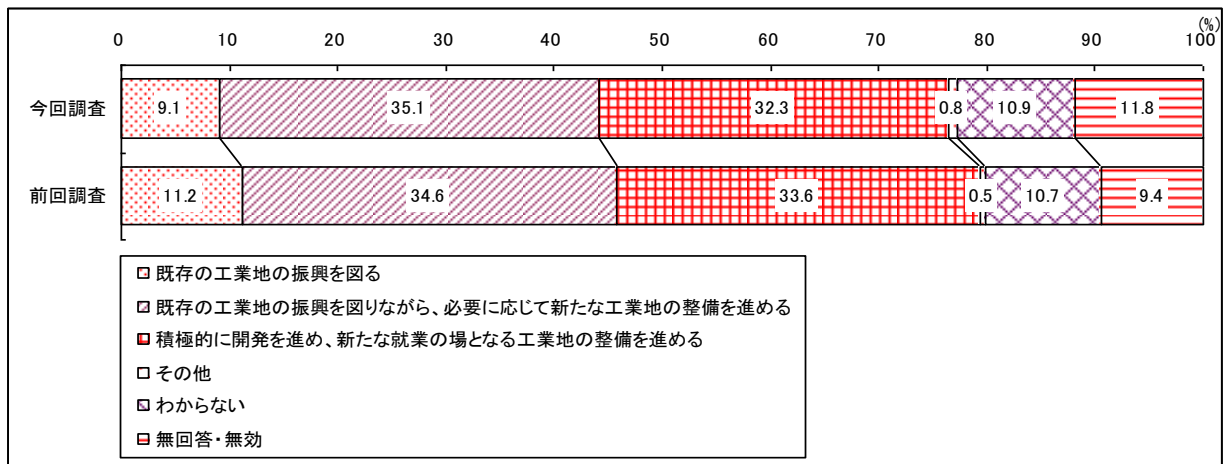
	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 既存商店街の活性化を図る	1,762	44.0	1,333	34.8	429	9.2
2 幹線道路沿いなどへの商業施設の立地を促進する	822	20.5	906	23.7	-84	-3.2
3 大型ショッピングセンターの立地を促進する	474	11.8	799	20.9	-325	-9.1
4 その他	47	1.2	47	1.2	0	0.0
5 わからない	601	15.0	470	12.3	131	2.7
無回答・無効	303	7.5	271	7.1	32	0.4
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 工業地のあり方 】

問 13 将来の工業地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか？

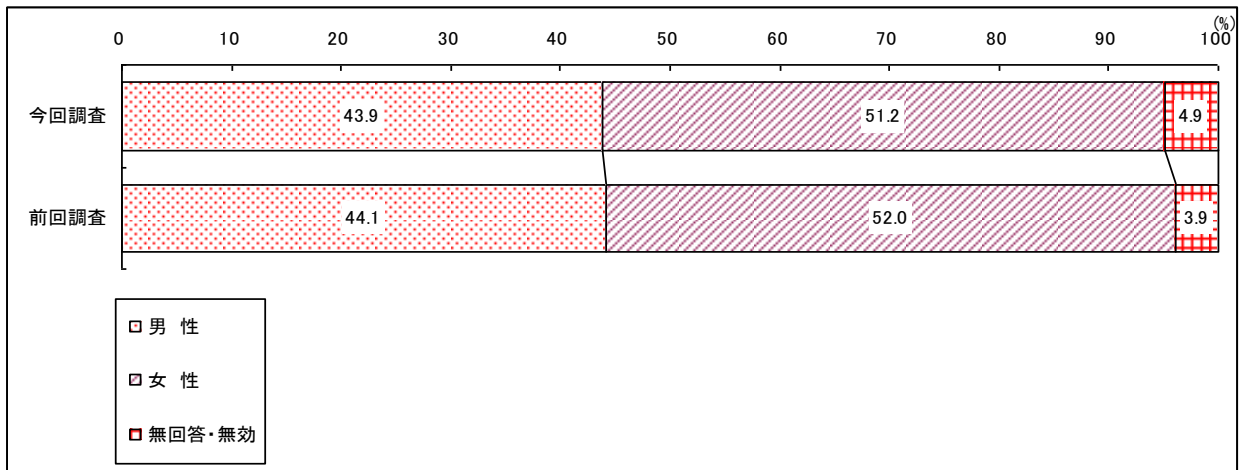
	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 既存の工業地の振興を図る	364	9.1	427	11.2	-63	-2.1
2 既存の工業地の振興を図りながら、必要に応じて新たな工業地の整備を進める	1,408	35.1	1,323	34.6	85	0.5
3 積極的に開発を進め、新たな就業の場となる工業地の整備を進める	1,295	32.3	1,286	33.6	9	-1.3
4 その他	30	0.8	21	0.5	9	0.3
5 わからない	438	10.9	409	10.7	29	0.2
無回答・無効	474	11.8	360	9.4	114	2.4
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【性別】

問14 あなたの性別は？

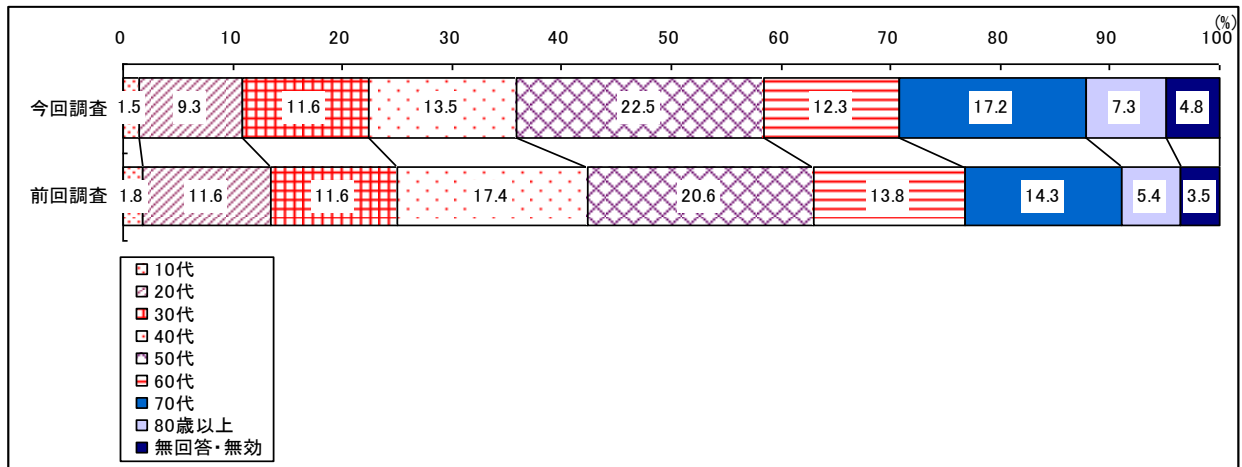
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 男性	1,758	43.9	1,688	44.1	70	-0.2
2 女性	2,053	51.2	1,988	52.0	65	-0.8
無回答・無効	198	4.9	150	3.9	48	1.0
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【年代】

問15 あなたの年齢は？

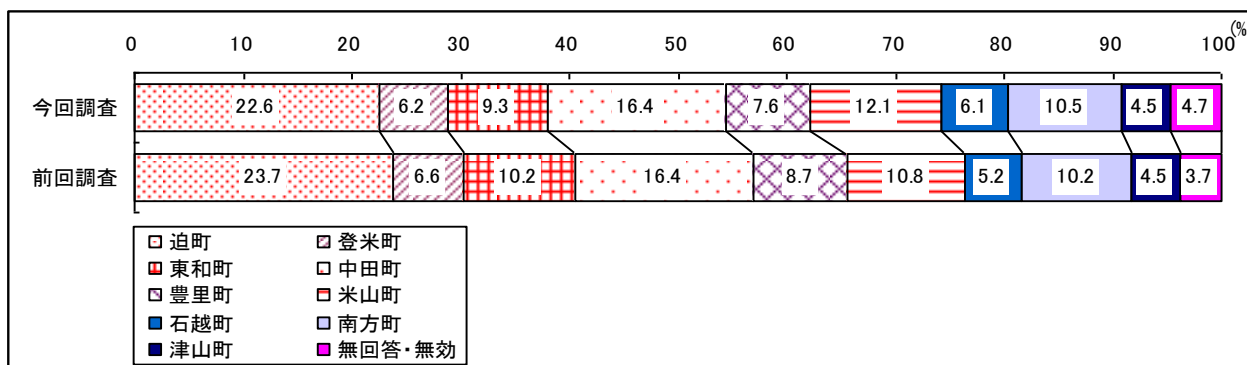
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 10代	60	1.5	69	1.8	-9	-0.3
2 20代	373	9.3	441	11.6	-68	-2.3
3 30代	464	11.6	442	11.6	22	0.0
4 40代	542	13.5	667	17.4	-125	-3.9
5 50代	904	22.5	789	20.6	115	1.9
6 60代	493	12.3	527	13.8	-34	-1.5
7 70代	688	17.2	549	14.3	139	2.9
8 80歳以上	294	7.3	207	5.4	87	1.9
無回答・無効	191	4.8	135	3.5	56	1.3
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【居住地】

問 16 あなたの住んでいる地区は？

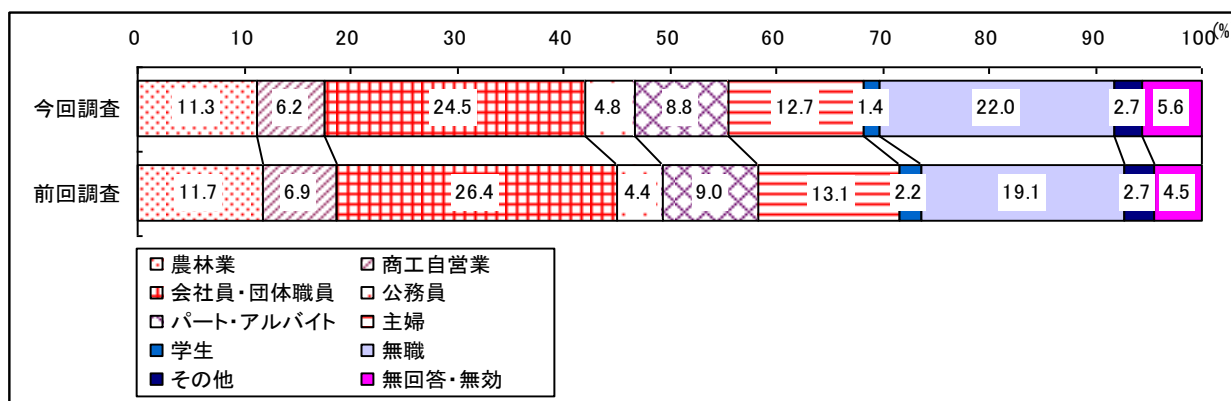
	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
1 迫町	906	22.6	907	23.7	-1	-1.1
2 登米町	251	6.2	253	6.6	-2	-0.4
3 東和町	372	9.3	390	10.2	-18	-0.9
4 中田町	660	16.4	627	16.4	33	0.0
5 豊里町	304	7.6	334	8.7	-30	-1.1
6 米山町	485	12.1	413	10.8	72	1.3
7 石越町	243	6.1	198	5.2	45	0.9
8 南方町	420	10.5	388	10.2	32	0.3
9 津山町	179	4.5	173	4.5	6	0.0
無回答・無効	189	4.7	143	3.7	46	1.0
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 職 業 】

問 17 あなたの職業は？

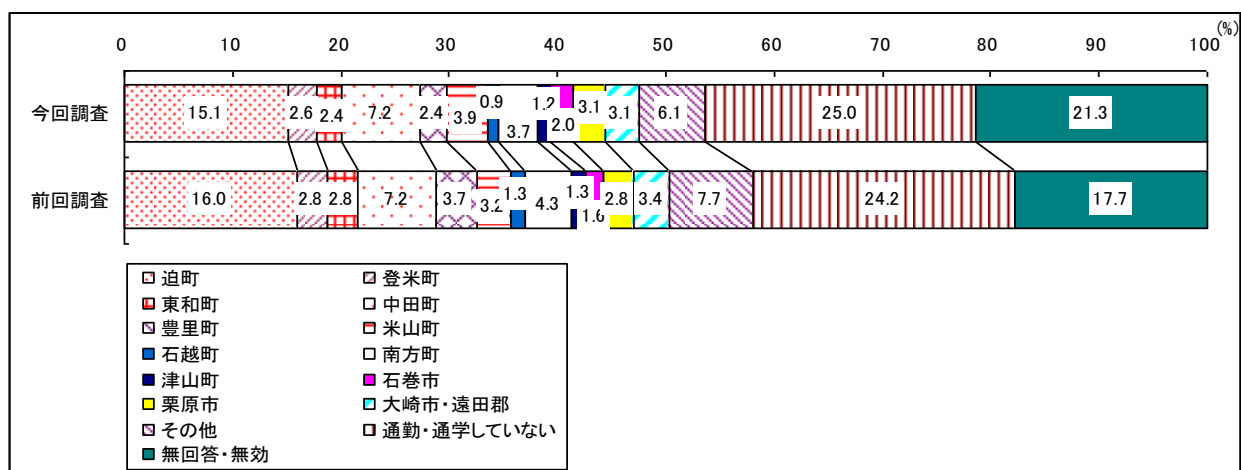
	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 農林業	451	11.3	450	11.7	1	-0.4
2 商工自営業	247	6.2	263	6.9	-16	-0.7
3 会社員・団体職員	984	24.5	1,011	26.4	-27	-1.9
4 公務員	191	4.8	167	4.4	24	0.4
5 パート・アルバイト	353	8.8	344	9.0	9	-0.2
6 主婦	510	12.7	502	13.1	8	-0.4
7 学生	58	1.4	84	2.2	-26	-0.8
8 無職	882	22.0	729	19.1	153	2.9
9 その他	110	2.7	105	2.7	5	0.0
無回答・無効	223	5.6	171	4.5	52	1.1
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 通勤・通学先 】

問 18 あなたの通勤・通学先はどこですか？

	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 迫町	605	15.1	612	16.0	-7	-0.9
2 登米町	104	2.6	106	2.8	-2	-0.2
3 東和町	95	2.4	107	2.8	-12	-0.4
4 中田町	290	7.2	274	7.2	16	0.0
5 豊里町	95	2.4	141	3.7	-46	-1.3
6 米山町	156	3.9	121	3.2	35	0.7
7 石越町	35	0.9	49	1.3	-14	-0.4
8 南方町	146	3.7	166	4.3	-20	-0.6
9 津山町	49	1.2	50	1.3	-1	-0.1
10 石巻市	80	2.0	62	1.6	18	0.4
11 栗原市	126	3.1	107	2.8	19	0.3
12 大崎市・遠田郡	126	3.1	131	3.4	-5	-0.3
13 その他	244	6.1	295	7.7	-51	-1.6
14 通勤・通学していない	1,004	25.0	928	24.2	76	0.8
無回答・無効	854	21.3	677	17.7	177	3.6
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0



【 居住経験 】

問 19 あなたの居住経験は？

	今 回 調 査		前 回 調 査		比 較	
	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)	回 答 数 (票)	構 成 比 (%)
1 登米市に生まれてからずっと住んでいる	2,145	53.5	2,063	53.9	82	-0.4
2 登米市出身だが市外での居住経験がある	947	23.6	883	23.1	64	0.5
3 県内の他市町村から転入してきた	415	10.4	443	11.6	-28	-1.2
4 県外から転入してきた	183	4.6	182	4.7	1	-0.1
無回答・無効	319	7.9	255	6.7	64	1.2
計	4,009	100.0	3,826	100.0	183	0.0

